

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社 学研データサービス

②施設・事業所情報

名称：	中村愛児園	種別：	認可保育園
代表者氏名：	園長 石田 みどり	定員（利用人数）：	147（119）名
所在地：	232-0035 神奈川県横浜市南区平楽133番地		
TEL：	045-251-3870	ホームページ：	https://nakamura-aijien.hakuho-kai.ed.jp
【施設・事業所の概要】			
開設年月日	1949年6月25日		
経営法人・設置主体（法人名等）：	社会福祉法人白峰会		
職員数	常勤職員： 28名	非常勤職員：	5名
専門職員	保育士 27名	栄養士	4名
	看護師 0名	調理員	1名
	用務員 0名		
施設・設備の概要	居室数： 保育室5室、ホール、厨房、更衣室、事務室、多目的室、会議室、園庭	設備等：	屋上園庭、ダムウエーター、避難用滑り台

③理念・基本方針

社会福祉法人白峰会法人理念「子どもは私たちの宝です たえず大人に喜びと望みと光を与えてくれます 私たちは真心を持って日々よく育てましょう」は創設者 平野恒の言葉です。子どもの素晴らしさや大事に育てていく大切さを伝えています。

中村愛児園保育理念は「キリスト教の精神に基づいて、子ども一人一人を大切にして、保護者から信頼され、地域に愛される保育所を目指します」、保育方針は「子ども一人一人の発達の方法を大切にして、心身ともに豊かな人間性を持った子どもに育てます」、保育目標は「健康な身体で明るく元気な子ども」「思いやりの心を持つ素直で優しい子ども」「意欲を持ち自分で考え行動できる子ども」です。

この保育理念、保育方針、保育目標に基づき、中村愛児園全体で力を合わせチームワークで保育に取り組んでいながら職員一人一人が専門性の向上を図り、養護と教育が一体となったより質の高い保育を行うように努力しています。

④施設・事業所の特徴的な取組

園は、横浜市営地下鉄ブルーラインの「阪東橋」駅より徒歩で15分ほどの場所にあり、坂道を登った小高い住宅街の中にあります。定員は147名となっています。

運営法人では、当園を含め、認可保育所を3か所と児童養護施設を1か所、運営しています。当園は、1899年に前身である私立警醒小学校附属児童教育所として設立され、1923年に中村愛児園に改称しています。

園舎は3階建てで、各保育室はゆったりとしたスペースが確保されており、5歳児クラスの保育室にはステージが設置されていて、ホールとしても利用できるようになっています。広々とした園庭では、子どもたちが鬼ごっこやかけっこ、鉄棒などで、体を思い切り動かして遊んでいます。屋上園庭からは、四季折々の美しい富士山の姿を見ることができます。

園の保育は、キリスト教の精神に基づいており、日々の保育の中で行う礼拝で幼児讃美歌や聖句に触れて、祈りを捧げ、1日1回は心静かに過ごす時間があります。

3～5歳児クラスでは、外部の専門講師の指導による体操教室の活動を取り入れて、子どもたちが体を動かす楽しさを体験しながら、体幹を強化できるようにしています。

外国籍の園児が多く在籍していることもあり、子どもたちは、さまざまな活動をいっしょに行うなかで、文化や言葉、生活習慣の違いを互いに尊重し合あえる心を自然とはぐくんでいます。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2022年5月20日（契約日）～ 2023年2月24日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1 回（ 2017 年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

◆子どもの状況を共有し、チームワークを大切にして保育を実践しています

園では、全クラスで複数担任を配置して子ども一人ひとりとしていねいにかかわりを持ち、個性や個人差、生活リズムなどを十分に把握できるよう保育にあたっています。日々のクラス内での話し合いや定期的に行う各種会議で、子どもの状況を報告し合い、クラスを超えて園全体ですべての子どもを見守れるようにしています。離乳食の対応や特に配慮が必要な子どもへの食事の対応などを栄養士と保育士が連携を図り、個々の状況に応じた対応を行えるようにしています。気持ちを落ち着かせる対応が必要な場面などでは、職員間で協力し合い子どもと一対一で向き合えるようにするなど、子どもの状況を共有しチームワークを大切にして保育を実践しています。

◆職員相互の信頼関係を深めながら、保育の質の向上を目指しています

職員個々の自己評価や個人目標の設定などの取り組みとクラスごとに話し合いを行いながらまとめていく園の自己評価を通して保育実践の振り返りを行っています。乳児会議や幼児会議では、職員個々が自らの保育実践の振り返りを四半期ごとに発表し合い、保育を行う上で大切にしていることやどんな保育を目指しているかなど、互いの保育観を伝え合うことで意欲向上につなげています。小グループを作って研修テーマを設定して取り組む園内研修や地域交流や防災関係などの係分担の取り組みを通して職員間で協力し合える関係性を大切にしています。このように、職員相互の信頼関係を深めながら、保育のさらなる向上を目指して取り組みを進めています。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

調査結果を拝見させていただき、「子どもの状況を共有し、チームワークを大切にして保育を実施している」「職員相互の信頼関係を深めながら、保育の質の向上を旨としている」との高評価をいただき大変嬉しく思いました。

今回の受審にあたり、自己評価・振り返りを行うことで新たな課題が生まれ、保育の資質向上に向けて学びとなり職員一同で取り組めたことと園の強みや改善点を理解しながら、子どもに寄り添い、それぞれの年齢にあった保育ができるように、より一層チームワークを強めていきたいと感じました。そして、訪問調査員の方々の温かいお人柄にとっても話やすく、貴重な第三者からのご意見や要望、助言を受け止めて今後の運営にしっかり生かして向上心を忘れずに取り組んでいきたいと強く思いました。ありがとうございました。

最後に保護者の皆様にはお忙しい中、アンケートのご協力をいただき深く感謝申し上げます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり